

12 篠山市大芋地区（大芋小学校区）
おくも
大芋活性化委員会

17 年度採択

地域の紹介

大芋地区は篠山市の東部に位置し、京都府に隣接しています。櫛石窓神社や長谷寺妙見堂、また篠山市景観重要建造物の指定を受けた澤山邸長屋門（赤門）などがあり、歴史と伝統の香り高い田園地域です。

近年は人口が減少し、高齢化率は46%になりました。最近では少し移住者もありますが、「少子高齢化・過疎化」の流れはいかんともしがたく深刻な悩みとなっています。

平成28年度には大芋小学校が閉校になります。現在活動している水車づくりを通じた地域活性化と跡地活用の取り組みが、このピンチをチャンスに変えるきっかけにできるよう活動を展開しています。

活動内容

■世代間交流

- ・三世代親善ゲートボール大会
- ・クリスマス会

■高齢者支援

- ・移送サービス（外出支援）
- ・生きがいデイサービス、歌ごえサロン

■持続的な活動

- ・まちづくり通信（毎月）
- ・ふるさとネット大芋（随時更新）

■水車づくりを通じた地域活性化

地域おこし協力隊と若者グループ「みらいプロジェクト」の活動



【三世代親善ゲートボール大会】



【移送サービス】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・情報発信環境の改善を目的としたホームページ開設や広報誌作成は、広報活動に大きな成果をもたらした
 - ・新たに高齢者支援の取り組みを実現することができ、組織の大きな自信に繋がった
- 【展開】
- ・小学校の跡地活用の取り組みを通して、住民一人一人が地域のことを考える機会となり、「大芋の里」に笑顔が連鎖するような活動を展開していきたい

大芋活性化委員会



拠点施設：「市立大芋公民館」

主な整備内容：改修

- 玄関スロープの設置、洋式トイレに改修、調理室の改修など
- 光ファイバー導入とパソコンの購入による情報発信環境の整備
- 音響機器の整備
- 備品整備

地域の紹介

古市地区は古くから交通の要衝となっていた地区で、中・小規模兼業農家が多く、伝承される文化や歴史も多く、義経伝説や忠臣蔵にも関わりのある地域です。毎年 12 月 14 日には宗幻寺での法要と地元小学生による義士行列が行われ、京阪神からも写真愛好家などが多く訪れます。また、多くの登山者が訪れる白髪岳・松尾岳や、特産品の住山ごぼうも有名です。

人口減少や高齢化が進んでいますが、「この地に暮らして良かった」と思える郷づくりをテーマに様々な活動を行っています。

活動内容

■コミュニティビジネス

極小規模に花を種から育てて販売

■持続的な活動

- ・文化祭、GG大会
- ・通学合宿（3日間）
- ・広報、活動内容の情報発信（毎月）

■ふるいち夢会議

平成 26 年 12 月より、篠山産業高校丹南校の廃校による施設利用を中心に地区の活性化策のワークショップや事例視察研修を実施



【通学合宿】もちつき



【グラウンドゴルフ大会】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・高齢者対策事業(生きがいデイサービス・ふれあい食事会・グラウンドゴルフ・いきいき塾)等について、部員の協力も積極的で参加者には好評を得ている
 - ・パソコン教室は参加者が増加傾向にあり、年 1 回開催の通学合宿や文化活動発表会も意義ある活動として継続実施できている
- 【展開】
- ・平成 28 年 2 月に廃校予定となる篠山産業高校丹南校の施設利用問題を討議する会が、発足し、当まちづくり協議会の事業として「廃校施設利用と古市地区の活性化」を議題に、毎月 1 回の会議と事例地視察等を実施。さらに具体化に向けて取り組んでいく

古市地区まちづくり協議会



拠点施設：「古市コミュニティ消防センター」

主な整備内容：備品整備

○カラー複合機、ビニールハウス、発電機、パソコン、プロジェクター、放送設備、テント、ビデオカメラ、いすなど

14 篠山市西紀中地区（西紀小学校区）
にしきなか
西紀中地区里づくり振興会

20 年度採択

地域の紹介

西紀中地区は篠山市の西部に位置し、宮田川の谷筋に細長く開けた地域です。地区内には寺ヶ谷遺跡、箱塚古墳群、上坂井古墳群の遺跡や、光照寺石造宝塔印塔、佐中峠、鏡峠、阿弥陀淵、倶利伽羅不動明王、愛染窟など多くの史跡があります。

主要道路である県道 97 号には路線バスが運行していますが、バス停まで遠いところで 2km 以上あり、高齢者などには利用しにくくなっており、住民の交通の確保が課題となっています。現在は高齢者等送迎サービスなどを行い、課題解決に取り組んでいます。

また、地域の特産物「山の芋」を利用した地域活性化にも取り組んでいます。

活動内容

■持続的な活動

- ・ふれあい喫茶、サロン（月～金）
- ・各種研修会、パソコン教室
- ・世代間交流事業
- ・とろろ街道炎の祭り（11 月）
- ・高齢者移送サービス
- ・夏休み子供広場
- ・防災訓練
- ・広報、活動内容の情報発信



【炎の祭り】



【高齢者等送迎】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・事業を機に、課題解決のために「拠点施設の整備」「地域全体で取り組む事業（炎の祭り）の実施」「高齢者等送迎サービス開始」に取り組み、地域の絆が深まった
 - ・特に、地域の風物詩「山の芋のつる燃やし」をイベントとした「炎の祭り」は、高齢者から子どもたちまでが楽しめる行事として定着した
- 【展開】
- ・西紀中地区里づくり振興会の基本方針 ①みんなが助け合う安全で安心なまちづくり ②美しい景観と特産物を活かしたまちづくり ③地域のみんなが集い、世代をこえた交流のまちづくり を目指して新たな事業にも取り組んでいきたい

西紀中地区里づくり振興会



拠点施設：「げんき・げんきハウス」

主な整備内容：改修

○玄関にスロープを設置

○内装を改装して間仕切り、ロビー・事務室・集会室を設置

○洋式トイレの増設

○2階へ屋外階段を設置 など

15 篠山市福住地区（多紀小学校区の一地域）
ふくすみ
福住地区まちづくり協議会

21 年度採択

地域の紹介

篠山市の東部に位置し、南は大阪府、東は京都府に接している地域です。古くから古代山陰道の宿場町として栄えてきたことから、格式ある本陣が置かれていました。施設が面する道に沿った地域は、平成 24 年 12 月に文化庁の伝統的建造物群保存地区に指定されています。

田園風景がよく残っており、自然豊かな景観と伝統的な古民家が残る地域ではありますが、近年は少子高齢化の波を受け、空き家が目立つようになりました。一方で、空き家活用を進める中で Uターン・Iターン者も出てきています。

活動内容

■都市部との交流

- ・田舎暮らし体験住宅運営委員会が中心となって農業収穫体験、交流ツアー、特産品加工体験などを実施
- ・定住促進を図るため、交流活動の一環として小学生を対象とした「福の里農業小学校」を開設・運営



【農業小学校】

■持続的な活動

- ・イベント、新旧交流
- ・防犯活動、防災訓練・防犯講習
- ・広報、活動内容の情報発信



【雪花火ランタン】

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・「さんば家ひぐち」活用活性化事業を推進し、さんば家サロン、ワンデーショップ、大学生との連携事業等多彩な文化・福祉事業を実施できた
 - ・「福住わだ家」活動は、田舎暮らし体験や地域住民との交流などを通じて、他府県からの移住促進、福住地区の魅力発信に大きく貢献している
 - ・夏祭り、福住祭、雪花火等各種イベント事業を展開しHPや facebook で情報発信し、多くの参加者を得ることができている
- [展開]
- ・2030 年に向けた 15 項目の計画を樹立し、小学校閉校跡地活用等により、地域福祉の拡充、地域商工業の振興・起業の支援、農産物の加工や地域ブランド化、自然、環境、景観を守り育て、人と人の繋がりを大切にする安心、安全のまちづくりを実践していく

福住地区まちづくり協議会



拠点施設：「福住古民家『さんば家ひぐち』」

主な整備内容：改修

○交流スペースの整備工事

（交流サロン、囲炉裏端交流スペース、セミナースペース）

○ふれあいギャラリーの整備工事

○備品整備 ○ミニキッチン、空調機、照明の設置 など

16 篠山市西紀南地区（西紀南小学校区）
にしきみなみ
西紀南まちづくり協議会

21 年度採択

地域の紹介

西紀南地域は今でも田畑が多く農家も多い地域ですが、近年は工場の進出と宅地化が進んでいます。地域外からの転居者も増え、微増ながら人口が増加しています。当地域は丹波黒大豆の発祥の地でもあり、特に川北黒大豆は特質した豆として有名です。秋には黒大豆の枝豆、冬には黒大豆として地域をあげて出荷しています。西紀南まちづくり協議会では高齢化する地域の将来を見据え、都市との交流を推進しています。中でも、4年前より神戸大学の学生と密接な交流を図っており、地域活性化の一助となっています。

活動内容

■コミュニティビジネス

農家に余っている野菜を持ち寄ってもらい、格安な価格で一般住民に販売（生産時期のみ）

■都市部との交流

- ・農村ボランティアとして都市部の人を受け入れ
- ・都市部の住民を当地に招いて本場丹波黒豆の各種レシピを紹介し黒豆消費の推進を図る

■神戸大学学生サークル“にしき恋”との交流

- ・農家へのボランティア活動
- ・地域のイベントに積極参加
- ・不耕作地で農作物の効率的な生産のための研究



【黒豆レシピの実習】



【にしき恋の農場】

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・事業を機に拠点を整備することで、地域の方々はもちろん農村ボランティアの皆さん、にしき恋サークル（大学生）の活動拠点として幅広く活用されるようになった
 - ・現在では地域の各種団体による会合、イベントにも利用されており、まち協本来の拠点として有効活用が図れている
- [展開]
- ・西紀南地区の特産品を見いだすべく、学生たちの英知と地元農業者との協調体制でより活力あるまちづくりを目指していく
 - ・これからの地域活性化は人あつての農業という考えから、若い世代の就農者誘致に向けて仕組みづくりを検討している

西紀南まちづくり協議会



拠点施設：「みなみ・ほっと・サロン」

主な整備内容：改修

○バリアフリー化（玄関のスロープ化、洋式トイレ）

○会議室の設置

○ホールの床面張り替え、キッチン新設

○壁クロス張り（一部ペンキ塗り） など

17 篠山市今田地区（今田小学校区）
こんだ
今田まちづくり協議会

22 年度採択

地域の紹介

今田地区は篠山市の西南部に位置し、播州地方とも古くから交流があります。地域の山林は植樹された樹木が少なく、春の新緑・秋の紅葉が訪れる人々に感動を与えています。また、日本六古窯の一つに数えられる丹波焼が有名で、多くの陶器ファンが訪れます。

福知山線の複線化に伴い、阪神間への利便性が増したことから多くの宅地開発が進み、一時は人口も増加しましたが、近年は減少に転じています。高齢化率も他の地域に比べ低い数値ではありますが、徐々に高まってきています。一方、世帯数は増加傾向にあり核家族化が進んでいます。

活動内容

■コミュニティビジネス

太陽光発電

■都市部との交流

- ・今田ときめき「若葉ウォーク」の実施
- ・県内の類似まちづくり協議会の訪問

■持続的な活動

- ・夏祭りの開催
- ・通学合宿
- ・ときめき農業塾、パソコン教室
- ・広報、活動内容の情報発信
- ・小学5年生による農業体験
- ・中学1年生による伝統文化体験



【夏祭り「今田小唄の踊り」】



【若葉ウォーク「新緑の歩道」】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・「今田の夏祭り」復活は、地域住民の一体感を呼び起こす活動として、年々参加者が増え盛大に実施できるようになった
 - ・「ときめき農業塾」で野菜栽培の技術を取得した農家が、温泉施設内にある「野菜直売所」へ野菜を出荷できるまでに成長している
- 【展開】
- ・都市部の方々に陶器の丹波焼や、天然温泉施設「ぬくもりの郷」を中心に、今田地区の魅力を発信していく
 - ・地域の子どもたちが今田地区の伝統文化の良さを知って成長してくれる事を願い事業展開していく

今田まちづくり協議会



拠点施設：「篠山市立今田まちづくりセンター」

主な整備内容：改修

- 現存の管理人室を協議会の居室に改修
- 屋上に太陽光発電設備を設置
- マスコットキャラクターの着ぐるみなど備品整備

18 丹波市神楽地区（神楽小学校区）

一般財団法人 ^{しぐら} 神楽自治振興会

17 年度採択

地域の紹介

当地区は、昔は播磨・生野との街道として栄えた地で、四方を山に囲まれ、盆地状の加古川の源流域を構成する自然環境豊かな農山村地域です。

紅葉の高原寺、清水川のバイカモ、樹齢1300年の大銀杏、浄丸の滝、ヒメボタル、九輪草など、地域には自然の見どころが多くあります。

神楽地域では、田舎暮らし体験施設・空き家情報窓口の運営や、豊かな自然環境を活かした行事の実施など、都市住民との交流を通じ、定住促進に繋がる事業の推進に努めています。

活動内容

■コミュニティ活動

ふれあい喫茶、高齢サロン、子育てサロン

■都市部との交流

- ・菅原体験古民家「かじかの郷」を運営
- ・田舎暮らし体験イベントを年2回開催

■持続的な活動

- ・バイカモ、ヒメボタル、九輪草の保全活動
- ・ノルディックウォーキング、グラウンドゴルフの普及
- ・集落の駅神楽にて健康づくり行事、花カフェ、資料展示等

■その他

稲作オーナー、7集落里帰り花火大会、子どもを育てる事業



【かじかの郷】



【健康づくり】

これまでの成果と今後の展開

- [成果] ・事業を機に、自然環境保全や人々との交流の大切さについての住民の意識が向上し、様々な活動内容を実行できるようになった
- [展開] ・引き続き田舎暮らし体験施設やリニューアルした集落の駅を活用し、地元住民が健康で元気ができる活動を進めていく
- ・神楽の魅力“自然”をアピールする交流行事を進め、神楽に帰ってきたい！神楽に住みたい！という人が一人でも多くなる活動を展開していく

一般財団法人 神楽自治振興会



拠点施設：「神楽の郷交流センター」「集落の駅神楽」

○神楽空き家情報窓口、インターネットコーナーの設置

○備品整備

（パソコン、カメラ、プロジェクター、グラウンドゴルフセット、神楽資料展示室、ユニットバス、カフェ・調理器具 など）

OHP： <http://sigura.jp> E-mail: shigura@lily.ocn.ne.jp

19 丹波市遠阪地区（遠阪小学校区）
とおさか
遠阪自治協議会

18 年度採択

地域の紹介

当地区は但馬地方と丹波地方とを結ぶ要衝の宿場町として賑わい、地区の中心地には城山が残存し、それらにまつわる史跡・旧跡が数多く点在しています。熊野神社の秋祭礼時に行われる「はだか祭り」は、奇祭の一つとして有名です。

各自治会とも人口減少が顕著であり、それに伴う空き家対策も課題の一つです。地区内には公共交通がなく、高齢者には移動手段がないため、引きこもりの要因になることが心配されています。

活動内容

■コミュニティビジネス

ふれあいサロン
「スマイル やまびこ」

■持続的な活動

- ・カラオケ教室
- ・歌う会
- ・太極拳

■指定管理者業務

市立「農村滞在施設」の維持、管理業務



「スマイルやまびこ」

「お元気会」



これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・事業を機に拠点施設の充実に伴って、校区内のエリアとした事業の実施、参加者の広域化がみられつつある
 - ・事業の実施活動の参加者の分析することで、高齢者に於いては移動手段の不備により参加できない状況と、少子化による子どもの参加数減少が顕在化してきている現状把握ができた
- [展開]
- ・参加者の分析から、人口比率の高い中高年層(60～70 歳)をポイントとした活動を検討し、対象者に合わせた設備の更新などを図りたい

遠阪自治協議会



- 拠点施設：「遠阪コミュニティセンター『やまびこセンター萬歳山』」
主な整備内容：改修
- 屋根の葺き替え
 - バリアフリー化、展示スペースの整備
 - 電気・空調の改修整備
 - 野外活動（ペタンク等）のためのグラウンド整備

20 丹波市久下地区（久下小学校区）
くげ
久下自治振興会

19 年度採択

地域の紹介

当地区は、古来より京と播磨・但馬を結び、中世以後は生野銀山の資源を大阪へ運ぶ要衝の地として往来が栄えました。全国的にも稀な、高い技術を持つ檜皮葺きの職人・事業所の集積地としても知られています。

近年は都会に住む若者が多くなり、人口は減少し、高齢化率の高い地域となりました。

久下自治振興会では、「ホテル飛び交う健康の里」をキャッチフレーズに、緑豊かな自然環境を守り、安心安全な生活環境を維持し、心豊かな生活をするため「お互い様」の気持ちを大切に「全員参画型の思いやり社会」を目指しています。

活動内容

■都市部との交流

尼崎市民運動中央地区推進協議会と交流

- ・葛のつる工芸教室（尼崎市へ）
- ・野菜販売（尼崎市へ）
- ・ハイキング（丹波市へ）



【尼崎市との交流】



【コミュニティ喫茶】

■持続的な活動

- ・ふれあい喫茶
- ・地域防災・防犯活動

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・事業を機に拠点を整備することで、誰もが集い交流しやすい場を作り、活動を通じて世代間の交流、高齢者の健康維持に繋げる活動ができている
 - ・都市部との交流や、地域の元気な女性団体の進出により、コミュニティ喫茶が開催できるようになった
- 【展開】
- ・地域の資源を活かした取り組みにも力を入れて活動をしていく
 - ・ネット等を通じて他の地域と積極的に交流活動・大学生との連携等を行い新しい風を取り入れていきたい

久下自治振興会



拠点施設：「久下自治会館」

主な整備内容：改修

○交流スペースの拡大（会議室）

○電気、空調設備の改修

○倉庫（書庫）の改築

○備品整備

21 丹波市上久下地区（上久下小学校区）
かみくげ
上久下地域自治協議会

20 年度採択

地域の紹介

当地区は豊かな自然環境に恵まれた山間集落です。伝統技術としての檜皮葺きや原皮師も継承されている地域です。平成 26 年に国の有形文化財に指定された慧日寺は紅葉の季節に賑わい、川代公園は桜の時期に大勢の人が訪れます。平成 18 年 8 月に当地域から丹波竜の化石が発見され、旧村営発電所や拠点施設の元気村かみくげが整備されたことで、年間を通して各地から人を呼んでこられるようになりました。

現在は元気村かみくげ名物「恐竜焼き」の販売など、地域資源の丹波竜を活かした地域活性化に取り組んでいます。

活動内容

■コミュニティビジネス

- ・元町マルシェに農産物の出荷
- ・ちーたん弁当の受注販売
- ・みそなどの特産品開発

■都市部との交流

- ・企業のボランティアグループと環境整備活動
- ・若者の合宿受け入れ体制作り
- ・神戸市多聞台地区へ野菜の出張販売

■持続的な活動

ふれあい喫茶、映画鑑賞会、地域新聞発行、ホームページの更新、その他各種イベントの開催



【パナソニックとの協働クリーン作業】



【ふれあい映画会】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・事業を機に、ホームページ開設による地域情報の発信や、月間情報誌「恐竜の里新聞」を通じた地域内情報交換の充実化を図れた
 - ・拠点施設では、毎月の「ふれあい映画上映会」での高齢者を中心とした憩いの場の提供や、ふれあい喫茶の実施、各種イベントの開催に繋げることができている
- 【展開】
- ・これら施設、設備を更に有効活用しながら、新たな資源「恐竜化石に継ぐ、恐竜と思われる卵の密集化石など」をストーリー化して地域の収益性に富んだまちづくり活動に取り組んでいく

上久下地域自治協議会



拠点施設：「上久下地域づくりセンター」
「企業組合『元気村かみくげ』」

主な整備内容：改修

- 倉庫のフローリング化
- 夜間照明設備と水道施設の整備
- IT 関連機器など備品整備

22 丹波市葛野地区（西小学校区）
かどのほうとく
葛野報徳自治振興会

21 年度採択

地域の紹介

当地区は周辺を山に囲まれ、地区面積の84%を森林が占める山村地域です。水稻を中心に花卉、果樹の生産が行われており、新たに特産品づくりにも力を入れています。

近年は少子高齢化の進行と若者の都市への流出に伴い、農業従事者の高齢化と後継者不足が進んでいます。また、地域でのコミュニティ活動の担い手も不足しており、集落機能の低下が懸念されています。

これらの課題に対し、葛野報徳自治振興会を中心に、数多くの団体の参画により、地域の活性化と福祉増進の活動により、のどかな「かどの郷」づくりに取り組んでいます。

活動内容

■コミュニティビジネス

- ・野菜の販売（収穫祭として）
- ・生椎茸と植菌椎茸原木の販売
- ・もちの生産販売

■都市部との交流

- ・南塚口の交流施設へ農産物の出展・販売
- ・ひかみドリームツアー（ヒメボタル鑑賞）
- ・カブト虫養殖場で採取体験学習（子ども対象）
- ・しめ縄づくり教室、椎茸の菌打ち体験、野菜づくり教室

■持続的な活動

- ・貸し農園の運営、管理
- ・椎茸園の管理
- ・カブト虫の繁殖 など



【採取体験あっ!カブト虫】



【冬まつり・餅まき大会】

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・事業を機に地域環境の保全や良好な景観形成維持の活動を進め、拠点施設は環境学習や自然体験の場として活用できた
 - ・地区住民と他地区住民が活動を通じて関わることで、外からの視点や刺激により葛野地区の魅力が地区住民自身が再発見し、地域への愛着と住民相互のコミュニティ強化が図ることができた
- [展開]
- ・地区内の活動を更に発展させ、地域に収益が還元できるような運営方法の検討していく

葛野報徳自治振興会



拠点施設：「かどのふれあい交流広場」

主な整備内容：新築

○コミュニティルーム1棟、作業場兼農具庫1棟

○貸し農園や里山利用者の休息の場やカルチャー教室として活用できる施設を整備

○備品整備

23 丹波市新井地区（新井小学校区）
にい
新井自治協議会

22 年度採択

地域の紹介

地域で一番高い高見山には戦国時代の山城跡があり、山麓には古墳群が存在します。古くから伝わる矢振り伝説もあり、秋には雲海が絶景です。また、地域一番の行事である秋祭りでは、各地区の神社のみこしや山車が新井神社に集まり賑わいます。

丹波市の商工業の中心地に属し、商業店舗や大型ショッピングセンターなどが立ち並び、生活の利便性は増えています。人口は維持していますが、核家族化が進み、また、若い世代の都市部への流出などもあり、丹波市の傾向にやや遅れて高齢化が進んでいます。

そのような中で、都市と農村の共存を目指し、積極的に都市部と交流を行っています。

活動内容

■コミュニティビジネス

- ・農産物の生産販売（黒枝豆他）
- ・豆菓子製造販売
- ・貸室、貸機器備品

■都市部との交流

神戸市灘区岩屋地区と農業体験を主とした交流で相互の訪問を行い、交流イベントを催す

■持続的な活動

- ・児童育成（夏休み塾・地域の歴史学習）
- ・防犯活動
- ・地区史編さん支援
- ・花いっぱい運動
- ・体育振興事業
- ・健康づくり事業



【新春健康ウォーキング】



【黒枝豆収穫体験】

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・助成事業で整えた拠点と備品を使って、地域の基盤産業である農業の保持を図り、農産物の栽培を通じた交流活動を実施
 - ・収穫した農産物を収穫祭、ポン菓子販売の素材として活用し、地区内の交流を図ることができた
 - ・植栽、収穫体験を通じ、他地域（神戸市灘区岩屋地区）との交流も行っている
- [展開]
- ・平成26年度に人口減少に転じ、社会変化が顕著になってきた状況を踏まえながら、さらに地区内、他地域の交流が相互理解を生み活動を発展できるよう事業を進めていく

新井自治協議会



拠点施設：「新井ふれあいセンター」

主な整備内容：新築

- 各種講座の開催や交流のためのスペースの確保
- 作業場兼農機具保管庫の整備
- 備品整備

24 丹波市春日部地区（春日部小学校区）
かすかべ
春日部地区自治協議会

23 年度採択

地域の紹介

春日部地区は、北の日本海から南の瀬戸内海に抜ける川を利用した丹波回廊の中間点近くに位置し、古くから拓けた土地です。県立自然公園の日ヶ奥溪谷は滝やもみじが美しく、また夏には避暑に多くの人々が訪れバンガローがありキャンプも出来ます。

高齢化率は30%を超え、年少人口は10%強の過疎地域です。人口そのものも減少しています。このような現状の中ですが、自分たちの生活は自分たちで守ろうと、交流事業や高齢者をも巻き込んだ様々な取り組みを楽しく行っています。

活動内容

■コミュニティビジネス

- ・元町マルシェへ農産品、加工品の出荷
- ・貸し農園の運営
- ・ふれあい喫茶

■都市部との交流

貸し農園を利用した交流会、収穫感謝祭

■持続的な活動

- ・婚活イベント「ふれあいまっちゃんぐ」の開催
- ・広報紙発行、ホームページ更新
- ・出前カフェの開催

■今後の取り組み

- ・拠点を利用した集いの場づくりや女性参加者増加を考えた事業
- ・高齢者も楽しみながら参加できる花菜園の運営など検討中



【製品の販売風景】



【交流会風景】

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・事業を機に活動内容が充実し、貸し農園を利用した交流会や収穫感謝祭などのイベントを開催している
 - ・元町マルシェ事業については、出荷人数、出荷額が記録を更新するなど地区全体で取り組み実施できている
- [展開]
- ・企画運営に工夫をこらし、少しでも地域に利益をもたらす事業の計画、実施を進めていく
 - ・春日部地区の特性を理解し、地区の特性を生かせるような組織へと改変を検討する

春日部地区自治協議会



拠点施設：「はるべの郷 春日部荘」 主な整備内容：改修

- 和室を洋間に改修
- 玄関バリアフリー改修、手すり新設
- 生活相談室内装改修
- 障がい者用トイレの整備 など

今後の整備予定：改修

- 玄関、相談室、事務所を集会や飲食可能なスペースに改修予定
- 調理室をカルチャー教室にも利用可能なスペースに改修予定

25

篠山市岡野地区（岡野小学校区）

おかの
岡野ふるさとづくり協議会

21 年度採択

地域の紹介

岡野地区は篠山市の中央部に位置し、城下町と隣接し、公共機関・大型の保養施設も設置され、交通機関にも恵まれた地区です。地区の中心部には徳川家康が篠山城築城の候補地の一つとした権現山があり、麓にある諏訪神社は安産の神様として知られています。

地区は北と南にわかれ、北地区は農村地域で兼業農家・3世代同居の世帯も多い地域ですが、少子高齢化が進んでいます。一方南地区は、近年宅地開発や郊外型商業施設の開設などで大きく様変わりし、人口も急増しました。地域では、地域の花と木を選定し地域のシンボルとすることで、住民の一体感や地域のイメージアップにつなげています。

活動内容

■持続的な活動

- ・スポーツフェスティバル
- ・敬老会
- ・ふれあい祭り
- ・防災訓練
- ・岡野の花（コスモス）・木（イチョウ）の選定と育成
- ・顔と顔がつながるあいさつ運動の実施（各集落に標柱を設置し啓発活動）



【防災訓練の様子】



【挨拶運動の標柱】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・事業を機にふるさとづくり協議会を設置し、ふれあい祭り、防災訓練、挨拶運動など様々な取り組みを行う中で、地区内での交流が広がり顔と顔がつながり始めた
 - ・ふれあい祭りの実施や各種イベント事業を展開し、多くの参加者を得ることができている
- 【展開】
- ・継続的な活動を通して地域内交流を深め、安心安全でやさしい地域づくりを実践していく
 - ・今後の活動のリーダーとなる人材育成（女性・若者）に積極的に取り組んでいく
 - ・地区の主たる産業である農業については、今後集落営農の手法を取り入れ、栽培技術の継承や環境保全に取り組んでいく
 - ・神戸大学との連携事業を通じて、特産の山の芋を使ったスイーツや新しい料理レシピの開発を行うとともに、農業ボランティアの受け入れに取り組んでいく

岡野ふるさとづくり協議会



拠点施設：「岡野文化会館（岡野ふれあいハウス）」

主な整備内容：増築

○事務所、会議室、展示・交流スペースの増築

○バリアフリー化

○備品整備

26 淡路市尾崎地区（尾崎小学校区）
おさき
 尾崎ふれあい交流広場

24 年度採択

地域の紹介

淡路島の西部、遠田山系の裾野に広がる丘陵地に位置し、新川流域に沿って行われる農業と、播磨沖での漁業が盛んな地域です。しかし、近年は農業・漁業ともに従事者の高齢化と後継者不足が問題となっています。

地区内の公民館、農協支所、遠田保育園が閉鎖され、さらには尾崎保育園や小学校も統合によりなくなりました。そこで尾崎ふれあい交流広場では、平成 27 年度から交流ふれあいサロン「尾崎ガーデンズ」をオープンし、手作りパンとコーヒーを提供しています。大変好評で、近隣市などからも来客があり、賑わっています。

活動内容

■コミュニティビジネス

交流ふれあいサロン「尾崎ガーデンズ」を運営
 （手作りパンとコーヒーの提供、営業は週 2 日）

■都市部との交流

- ・尾崎ワイワイ祭り
- ・夏祭り
- ・餅つき大会

■持続的な活動

- ・パソコン教室
- ・料理教室
- ・3世代交流活動
 （グラウンドゴルフ、囲碁将棋教室、竹炭作り教室）



【ふれあい喫茶】



【パソコン教室】

これまでの成果と今後の展開

- [成果]
- ・事業を機に囲碁将棋教室、郷土史教室等を実施、27 年度には待望の交流ふれあいサロン「尾崎ガーデンズ」がオープンし、一日約 40 人、年間約 4,000 人にご利用いただくなど好評を得ている
 - ・拠点施設では交流ふれあいサロンの他、各種の展示会やコンサート等にも施設を開放し、積極的に活用することで多世代の参加、交流に繋げることができている
 - ・平成 27 年度は女子会が結成し、女性による活発な運営に取り組んでいる
- [展開]
- ・趣味の世界の広がりや喫茶のメニューを増やすなどにより、更なる交流を図ることができるよう展開していく

尾崎ふれあい交流広場



拠点施設：「淡路市立旧尾崎保育園、旧遠田保育園」

主な整備内容：改修

- トイレ改修工事
- 空調設備、照明設備工事
- 炭化装置、パン焼き機の導入
- 太陽光発電システムの設置

27 淡路市生田地区（生田小学校区）
いくた
生田地域活性協議会

22 年度採択

地域の紹介

地域の最大の課題は進む高齢化の問題です。美しい景観が広がる棚田も、高齢化とともに徐々に農業生産を行うことが不可能になりつつあり、また、住民が地域に自信を持っていないなどの問題も浮き彫りになりました。

生田地区では平成 19 年から農業関係の事業として、地域をあげてそば栽培に取り組んでおり、都市部の方々と交流するために地域イベントとして「そば花まつり」を開催してきました。交流広場の整備では、この活動を発展させるため、風味が良いと好評いただいている地元産のそばを提供する施設、「そばカフェ生田村」を併設しています。

活動内容

■コミュニティビジネス

- ・そばカフェ生田村（土日祝日営業）
- ・ふれあい喫茶

■都市部との交流

そば花まつりの開催

■持続的な活動

- ・100 歳体操、グラウンドゴルフ練習
- ・行事終了後に「そばカフェ生田村」でダベリング
- ・そば打ち教室の開催
- ・フラダンス教室の開催



【そばカフェ生田村】



【100歳体操】

これまでの成果と今後の展開

- 【成果】
- ・そばカフェ生田村のコミュニティビジネスは年間1万人近い都市部の皆さんを迎え、地域活性化の大きな柱となった
 - ・地域では持続的な活動が行われるようになり、生田村交流ひろばは拠点として大きな役割を果たし、ふれあい喫茶は地域人口の10倍に相当する年間4,000人近い利用がある
- 【展開】
- ・本年4月にはエネルギー持続のむら認定で20KWの太陽光発電が整備され、災害時の準避難所としての利用と、平時には売電収入による施設維持に役立てられる

生田地域活性協議会



- 拠点施設：「旧市立生田保育所」
主な整備内容：改修
- 遊戯室を拡張し、多目的室として利用
 - 保育室の改修、厨房の一部整備
 - トイレの改修（身体障がい者用含む）
 - 間仕切りの設置、太陽光発電と薪ストーブの設置 など